

日刊建設通信新聞（2016年6月6日付3面掲載）
【ACKグループが定例会 長期的展望で個と連携を強化】

長期的展望で個と連携を強化

ACKグループが定例会

ACKグループは2日、東京都渋谷区の同社で、第19回定例会を開いた。本会場に加え、テレビ会議、インターネットライブ中継で接続した全国20カ所以上の拠点から、多数のグループ会社の役員が出席した。

定例会は、中期経営計画「ACKG2013」の強化方針である「個の強化」「連携の強化」「3軸市場の競争力強化」を、グループ全社が一丸となって進めるための場と位置付け、グループ各社の重点化プロジェクトの取り組みを紹介している。



8つのプロジェクトについて、内容と今後の展開を発表され、多くの質疑応答が行われた。写真。発表に対しては、出席者によるインターネット投票を行い、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。

最優秀賞には「つぎは市における観光振興に向けた取り組み」（清見光生サーチアンドソリューション本社営業部課長）、優秀賞には「3D地上レーザFOCUSとびび割れ調査 クモノSTSを活用した橋梁点検と補修設計への利用」（木村光晴エイテック関西支社空間情報調査部部长兼空間事業推進室室長）、「下水道事業における官民連携プロジェクト参画の推進」（大津賀聡中央設計技術研究所技術本部副部长兼下水道部部长）が選ばれた。

野崎秀則社長は「事業拡大に向けては、技術開発、人材育成、実績づくりを強化し、ACKグループの差別化を図ることが重要だ」とした上で、「そのためには、このような機会を通じて全役職員のコミュニケーションを一層促進し、長期的な展望を持って、個の強化、連携の強化を着実に進めていってほしい」と締めくくった。